



クロロフィル成分が一番多くなる朝に収穫したよもぎを、風味を逃さぬよう当日加工して冷凍保存している。

但馬の隠れた逸品

Ippin

vol.9 但馬よもぎドレッシング (朝来市)

朝採れの国産よもぎを使用した

新感覚ドレッシングが登場!!

栄養たっぷり!野菜嫌いの子どもに◎

独特の香りがあり、古くから食用だけでなく万能薬として重宝され、日本人にもなじみが深いヨモギ。こうした効能を広く知ってもらおうと、今春、朝来市産の「但馬よもぎ」を使用したドレッシングが販売された。手がけるのは同市山東町にある「但馬よもぎ本舗」。3年前から生葉のみを当日加工し冷凍保存した、ヨモギペーストの開発を手がけている。

代表の中野豊大さんは、「アトピーを持つ子どもがいて、ヨモギの成分が肌によいと聞いたことが始まり。ヨモギ摘みに行ったのですが、除草剤が撒かれていたりして安全性に疑問を持

ちました。子どもたちに安全なものを与えたいという気持ちが高まったことがきっかけでした」と話す。まずは手軽にヨモギのよさを味わってもらうため開発したのが、今回の「但馬よもぎドレッシング」。「ごまだれ風」と「和風」の2種類あり、サラダにソースにと幅広く使えるので、単に野菜が摂れると評判だ。栽培は5軒の契約農家が担い、休耕田を活用して生産している。滋賀県にある和菓子の銘店が手がけるヨモギ農園に代表自らが出向き、農業を使わない自然農法を習得。農家と二人三脚でヨモギ作りに励んでいる。



爽やかな風味が、サラダを引き立てる。揚げ物にもよく合う「ごまだれ風(右)」と、肉料理をさっぱりと楽しめる「和風」の2種類を販売。

■但馬よもぎ本舗

【所】兵庫県朝来市山東町矢名瀬町845

【問】TEL.079-676-3985

*道の駅フレッシュあさご、山城の郷、道の駅神鍋高原で販売。朝来市商工会の特産品ネット通販ショップ「あさごもん」でも販売している。(http://www.asagomon.jp)

竹中司法書士事務所

●不動産登記 ●商業・法人登記 ●相続 ●裁判事務



司法書士・行政書士
竹中 博司
TEL. 0796-23-4111
FAX. 0796-23-4161
MAIL. takenakasihousyosi@sage.ocn.ne.jp

司法書士 中田 治子
司法書士 松岡 英樹

但馬よもぎ

全量兵庫県但馬産
契約農家自然農法栽培

但馬よもぎ本舗

兵庫県朝来市山東町矢名瀬町845
TEL.079-676-3985(担当:中野)

和洋菓子、食品全般にご利用可能な「但馬よもぎ冷凍ペースト」も販売!!

妙見の白「養父市八鹿町」



*旧国道9号と国道312号が交わる養父市「宮越交差点」の南側は鳥居を建てた場所として伝えられ、現在も「富貴が塙(ふきがたわ)」と呼ばれている。
※「塙(たわ)」とは山の尾根が低くくぼんでたわんだ場所。

江戸時代から伝わる不思議な白
部屋をのぞくと、白い大蛇の姿が：

但馬の中央山脈の南端に位置する養父市八鹿町の妙見山^{みょうけんさん}山腹にある「日光院」は本尊に妙見大菩薩を祀り、古くから妙見信仰の一大霊場として信仰を集めてきた。この古刹に、江戸時代に奉納されたと伝わる木臼がある。この古びた臼には、不思議な少年の伝説が残っている。

遠い遠い昔、網場村^{なんば}に森木三右衛門という人が夫婦仲睦まじく暮らしていた。2人は神様への信仰も篤く、働き者だったという。

ある夜、表戸を叩く音がして戸口に出てみると、若まげをゆい^{かみしも}、袴を着け、腰に小刀を差した少年が立っていた。「晩泊めてほしい」といわれ、部屋へ案内することにした。

しかし、神々しさが漂う少年に、三右衛門はただらぬ気配を感じ、蔵から臼を取り出して持って行った。すると、少年は臼に座って、「これ

から休みますが、部屋の中を絶対に見ないでほしい」といった。

見るなどいわれた三右衛門だが、気になって板戸の隙間に右目を当てて部屋をのぞくと、驚くべき光景がそこには、白にぐるぐる巻きついて休んでいる白い大蛇の姿があった。

あくる日、お礼をいい旅立った少年は、まっすぐ妙見山の方へと去って行った。三右衛門は「妙見様のお使いに違いない」と思い、最後に見えた尾根の上に鳥居を建てて、妙見様を拝む場所にしたという。それから、家は栄えて、お金持ちになったそうだ。

その後、村は大火事に見舞われたが、臼は焼けずに残り、子孫は妙見様のご加護だと思つて、日光院へ納めて供養してもらうことにした。

世にも不思議な「妙見の白」伝説。臼は由来を記した古文書とともに、寺の宝として大切に祀られている。



但馬妙見 日光院

日光院に残る「妙見の白(原則非公開)」。日光院は約1,400年前、日光慶重が同地を訪れ、妙見信仰の拠点を創建したと伝わる古刹。毎年7月18日には、夏の妙見祭りを開催。護摩法要の他、境内一帯がろうそくで照らされ、バザーや露店も催される。

◆養父市八鹿町石原450
(問) 079-662-2817



参考文献：兵庫県学校厚生会「郷土の民話 但馬篇」

今年の夏こそ
ゆかたを詠えて
着付けを覚える

いいかもと思つたら
ちょっと覗いてみてください

ゆかたスタイリング 無料
(お持ちの浴衣や小物も可)

ゆかたの着付け教室
(2時間 2,100円)



KIMONO SALON KEITANI

〒668-0084 兵庫県豊岡市福田1887-1
フリーダイヤル 0120-529-008
kimonosalon-keitani@live.jp



2013 keitani style

ゆかた